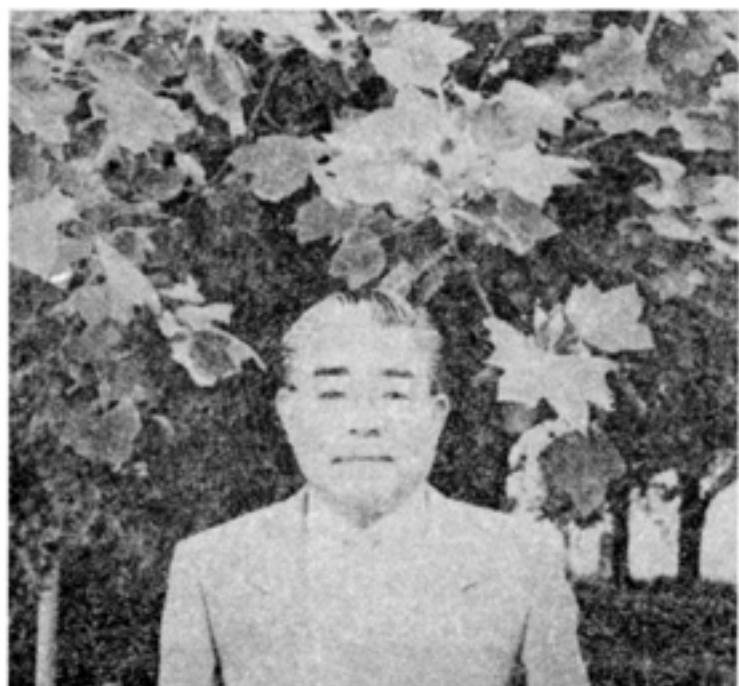


# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '91 6月号



「花が咲き始めたユリノキの下で」（5月）

昭和49年9月のある新聞に「ユリノキを残すために、建設中の平塚市博物館は、建物の位置を変更！」という内容の記事が掲載されました。このユリノキは、昭和15年、「紀元二千六百年記念」に植樹された由緒ある木で、現在は、太さ2メートルの大木に成長しています。今、この博物館の象徴でもあるユリノキを中心に、庭園は、イチョウ、カシ、ケヤキなどにより、新緑で萌えています。

さて、当博物館は、今年で、開館以来16年目を迎えました。私たち職員は、地域に根ざした文字通り、「あなたの博物館」を念頭に置き、

- いつ来ても変わらぬ展示というイメージの払拭
- 多様な教育普及活動の成果の反映
- 最新の情報をより早く、より多く取り入れた新鮮な内容

を常に目標として、魅力的な館づくりに一步一步努力してまいりました。先月号で御案内しま

生涯学習の拠点として  
魅力的な館づくりを！

した通り、1階常設展示「相模平野と人間」の一部を展示替えする計画があり、現在、そのための具体的な作業を進めている最中でございます。今回は、情報機器や視聴覚機器を活用し、静的な展示から動的な展示にすることを主眼にしております。新しい展示は、来年4月より公開される予定です。どうぞご期待いただきたいと思います。

人生80年時代を迎えるため、より豊かに生きるために、自ら学習し、自分を育てる生涯学習の拠点のひとつとして、博物館は、益々脚光を浴び、期待をされています。多くの皆さん、生涯にわたり、博物館を常にご利用して頂けるよう、施設・整備の充実、収集資料の活用、教育普及活動の推進に職員の英知を結集し、「喜びを感じる生涯学習」のため、がんばる所存でございます。

博物館長 吉川 功

# 相模川の生き立ちを探る会

## ●「生き立ちを探る会」とは

博物館では、今年度から「相模川の生き立ちを探る会」を新たに発足させました。この会は館のテーマである「相模川流域の自然と文化」の土台となっている大地の生き立ちを探ろうという会です。自然の生き物や生活文化などと、大地の地形や地質がどの様にかかわっているかを考えながら、相模川流域の各地を観察していくと思っています。野外観察を通して、参加者が見たこと、感じたことをレポートにまとめ、会誌も発行していきたいと思っています。月1回、日曜日に実施します。

今年度は、三浦半島・相模平野・丹沢・秦野・箱根等の県内各地の地形や地層を鉱山・石材・防災・治水等との関わりを考えながら、観察する予定です。できるだけ身近な話題を取り上げていきたいと考えています。

## ●深海のシロウリガイ化石

5月19日には第1回目の観察を「シロウリガイの分布と環境」をテーマに、逗子市神武寺～逗子高校～鷹取山のコースで行いました。昨今、逗子で話題となっているシロウリガイとはどんな貝で、どの様な地層に、どの様に含まれているのかを観察しながら、この貝の持つ意義を考えてみました。参加者の多くはシロウリガイがあれほど大きいものとは思わなかったようでした。現在のシロウリガイは、相模湾の水深1000mの深海に棲んでいることから、かつての三浦半島の景観を、現在の相模湾とダブらせることができ、壮大な大地の生き立ちのイメージが浮かびました。

次回は、三浦半島中部を観察し、三浦半島付近に火山があったのか？また、半島南部は南方からプレートにのってやってきたのか？を見てみたいと思います。

なお、この会は年間会員制ですので、参加ご希望の方は博物館までご連絡下さい。

## ●参加者の声

- ・時間的にゆっくり観察することができた。
- ・メタンガスを栄養源にするシロウリガイの生態が興味深かった。
- ・身近な話題・地域なので、地学に対するよいきっかけがつくれた。
- ・海の中の別世界を目の当たりにみたような思いがする。
- ・鷹取山からの展望で、三浦半島の地形の生き立ちが一層わかった。
- ・本の知識を目で見、さわることができて良かった。



「第1回目の探る会」(5/19 池子弾薬庫前)



「見つけたぞ。シロウリガイ化石」

## 夏の募集行事の案内

6、7月に募集する行事の中から、いくつかをご紹介します。

### ■自然観察会

内容：エゾハルゼミを中心に山の自然を観察します。

日時：7月14日（日）午前8時～午後4時

場所：大山

申し込み：7月5日までに往復ハガキで担当まで。希望者多数の場合は、抽選で、30名までとします。

### ■「セミのぬけがら調べ」調査協力者募集

内容：公園や庭で、ぬけがらを集めてセミの種類を調べ、環境によるちがいを整理します。各自、調査地点を分担して、2～3回のぬけがら集めを行います。予備知識はいりません。

ガイダンス：7月24日（水）

午前9時～12時

野外観察会：8月1日（木）

午前9時～午後3時

調査：各自2～3回つごうのよい時に分担地点で調査

まとめ：8月28日（水）

申し込み：7月15日までに往復ハガキで担当まで。

### ●人事異動のお知らせ

平成3年度の発足にあたり、以下のような人事異動がありましたのでお知らせ致します。（）の中は、前役職名です。

#### 異動

- ・指導部参事兼平塚市博物館長 吉川功  
(指導部参事兼指導部社会教育課長兼指導部社会教育課文化財保護係長)
- ・平塚市博物館主幹兼平塚市博物館市史編さん係長 南里宏  
(平塚市博物館館長代理、管理・学芸担当)
- ・平塚市博物館館長代理、管理担当 八木一実  
(総務部資産税課課長代理、消却資産担当)
- ・平塚市博物館主査 越水成美  
(平塚市市民病院医事課主査)
- ・総務部資産税課主任 春原昭彦  
(平塚市博物館主任)

#### 新採用

- ・平塚市博物館主事兼学芸員 栗山雄揮

### ■体験学習「簡易実体鏡を作ろう」

内容：板目紙を使って、写真を立体的に見ることができる実体鏡を作ります。

日時：7月27日（土）

午前10時～午後3時

場所：博物館科学教室

参加費：600円（当日持参）

申し込み：7月10日まで往復ハガキで担当まで。



### ■教員対象野外研修講座

内容：土屋地区の自然や歴史について学びます。考古・歴史・民俗・生物・地質の各部門で、テーマを持ち、実際に調査活動をしながら学習します。

日時：8月6日（火）と7日（水）の二日間  
(宿泊はしません。)

対象：小中学校などの教員（約30名）

申し込み：詳しい要項を学校等に配布します。  
申し込みは、7月10日頃までの予定。問い合わせは、博物館学芸係まで（33-5111）。



## 《行事案内》

### 6月の行事予定

1	土	ナチュラリスト講座
2	日	自然観察会 ハセミの山、秦野
4日～13日	は	全館くん蒸のため休館
8	土	漂着物を拾う会※6時平塚海岸
15	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 土曜観察会
16	日	石仏を調べる会 相模川の生き立ちを探る会 (三浦方面)
20	木	星を見る会(西の空の3惑星)
22	土	漂着物を拾う会※6時平塚海岸 古文書講読会 石仏を調べる会
23	日	相模川を歩く会(川尻)
29	土	土曜観察会(まとめ)

### 7月の行事予定

6	土	ナチュラリスト講座
7	日	漂着物を拾う会(葉山方面) 相模川の生き立ちを探る会
13	土	漂着物を拾う会※6時平塚海岸 古文書講読会 石仏を調べる会 土曜観察会
14	日	自然観察会(大山)
20	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
21	日	相模川を歩く会(田名)
24	水	みんなで調べよう(ガラス)
26	金	夏休み自由研究相談会
27	土	古文書講読会 土曜観察会 体験学習「実体鏡をつくろう」
28	日	石仏を調べる会

6/15～7/30 「新資料展」(自然部門)

5/11～7/14 プラネタリウム

「ボイジャーが見た海王星・天王星」

7/20～9/1 プラネタリウム「こと座物語」

5/21～7/10 幼児投影期間(園児団体投影)

7/20～9/1 夏季特別展「湘南のキノコ」

### ●全館くん蒸(滅菌・害虫駆除)のための休館のお知らせ

博物館資料をかびや害虫から守るためにくん蒸を行います。そのため、次の期間を休館とさせて頂きます。この間、館内へは立ち入りできませんので、ご了承下さい。

期間: 6月4日(火)～6月13日(木)

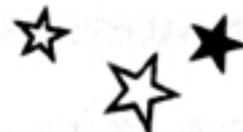


### ■星を見る会「西の空の三惑星」

夕方、金星・木星・火星の三惑星が西の空に集まっている様子をながめます。金星が、三日月形に欠けてきた様子や木星の表面もようを望遠鏡で観察します。

日時: 6月20日(木)午後7時～8時半  
集合: 博物館科学教室

参加: 自由



### ■プラネタリウム

テーマ: 「ボイジャーが見た天王星・海王星」  
(7/14まで)

アメリカは、1977年、惑星探査機ボイジャー2号を打ち上げました。今回の投影では、その時接近した天王星・海王星についての情報を伝えましょう。

投影: 土曜日は、午後2時から。

日曜日は、午前11時と午後2時からの2回。

所要時間: 1回 45分



観覧券: 1人 100円



\*行事内容について、わからない点がありましたら、遠慮なくお尋ね下さい。